

学校現場における発達障害支援のこれから これから、 ともに学ぶために

発達障害の子どもは集団行動が苦手で、一人違った行動をとるケースも。
しかし、こういった行動は少し環境を変えたり、クラス全体、学校全体に良い雰囲気があると、
行動が落ちつくというケースもみられます。
発達障害をもつ子どもに落ち着いて学校生活を送ってもらうため必要な支援を考えます。

講師は、精神科の医師で昭和大学附属烏山病院病院長の岩波明さんと、誰もが安心して
過ごせる学校づくりに取り組んだ、大阪市立大空小学校・初代校長の木村泰子さんです。



2022

2/19 **土** オンライン開催
13:00～17:00

Zoomを
使用します

申し込み締め切り

2022年2月16日(水)までにお申し込みください

対 象 おもに発達障害に関心のある教職員、学校関係者、保護者など ※発達障害に関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。

参加費 無料 **定 員** 100人程度 ※定員に達した場合、受け付けを終了する場合があります。

13:00～	開会
13:10～14:10	講演 「ふつうの子」って、いますか？ ～指導を支援に変えると「あの子」は変わる～(仮) 講師:木村泰子さん(大阪市立大空小学校・初代校長)
14:10～14:20	休憩
14:20～15:20	講演 先生の言うとおりに動かないのは 「性格の問題」ではありません(仮) 講師:岩波明さん(精神医学講座主任教授、同大附属烏山病院長)
15:20～15:30	休憩
15:30～16:30	対談 いろいろな個性や家庭環境、 背景をもった子どもたちが共に学ぶために 質疑応答
16:30～17:00	まとめ

講師紹介

木村泰子さん

(大阪市立大空小学校・初代校長)



大阪府生まれ。武庫川学院女子短期大学(現武庫川女子大学短期大学部)卒業。大阪市立大空小学校初代校長として、「すべての子どもの学習権を保障する学校をつくる」ことに情熱を注ぐ。その取り組みを描いたドキュメンタリー映画「みんなの学校」が大きな話題に。

2015年に45年の教職歴をもって退職。現在は講演会、セミナーなどに積極的に登壇。東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター協力研究員。

岩波明さん

(精神医学講座主任教授、同大附属烏山病院長)



神奈川県生まれ。昭和大学医学部精神医学講座主任教授、同大附属烏山病院長。主な著書に『発達障害』、『発達障害はなぜ誤診されるのか』など。東京大学医学部卒。精神科医、医学博士。発達障害の臨床、精神疾患の認知機能の研究などに従事。都立松沢病院、東大病院精神科などを経て2012年より昭和大学医学部精神医学講座主任教授、2015年より同大附属烏山病院長を兼務。

コーディネーター 宮坂麻子



1992年入社。名古屋本社・教育担当記者、東京本社社会部教育班・文部科学省記者クラブ担当などを経て、約30年、教育担当記者として、いまを生きる子どもたちとその未来へつなげる教育を追い続けている。テーマは、学校改革、授業、ICT教育、インクルーシブ教育、いじめ、不登校、受験、そのほか教育政策全般。

申込方法

参加する端末1台ごとに①～⑦を記載し、お申し込みフォームまたはメールでお申し込みください。

お申し込みフォーム

<http://www.asahi-welfare.or.jp/archives/2021/12/onlyone-20220219.html>

[mailto: onlyone@asahi-welfare.or.jp](mailto:onlyone@asahi-welfare.or.jp)



- ①お名前(同じ端末で複数名が聴講する場合は全員)
- ②お立場(特別支援学校教職員、普通学級教職員、教育委員会関係者、NPO・社会福祉法人など関係者、保護者など)
- ③住所
- ④電話番号
- ⑤メールアドレス
- ⑥講師への質問やほかの参加者に聞いてみたいこと(対談の時間は、こちらで寄せられた質問をもとに進める予定です)
- ⑦この講演に興味を持ったきっかけ

※ZOOMの会場への入室管理を申込時のお名前で行います。ZOOMの表示名を①の代表者名に設定してください。

※ご登録いただいた個人情報は、このセミナーの開催準備、実施後のアンケート等のために使用します。また、次回以降の開催の際にご案内を送らせていただくことがあります。その他の目的で使用することはありません。